

8. 9月の出来事

8月10日 作業日 生活
介護2名、就労B 19名

24日 作業日 生活
介護3名、就労B 19名

9月14日 ボウリング

28日 作業日 生活
介護1名、就労B 19名

生活介護の様子

フルーツキャップ折り返し、DM封入、コーナー折り作業、脳トレ塗り絵、削り絵などを行いました。

就労継続支援B型の様子

お菓子の香梅さん(武者がえし、姫ナイフ、陣冷)、インターナショナルミカさん(フルーツキャップW-11)、さかき印刷さん(味噌蓋シール貼り)、釜屋さん(各種ごま封入、各種シール貼り、すべすべヴェーダ封入)、チューインさん(各種紙袋成形、封入作業等)より作業を受注しました。自主製品は、熊本第一高校、コウケン、済々黌高校ソフトテニス部、楠中吹奏楽部、力合野球クラブ、九母合同キャンプ、熊本県セルプセンター様より受注しました。

10. 11月の予定

10月12日 作業日

22日 即位の礼正殿の儀
により休みです

26日 作業日

11月 9日 行事(詳細は後日)

7日 県庁展示・商談会
(どなたでもご来場になれます)

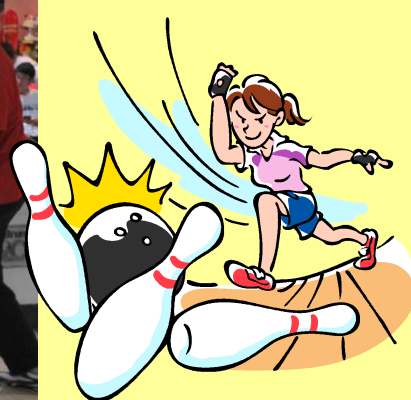
23日 作業日

enjoy BOWLING

和元年9月14日(土)、今年度2回目のボウリングを実施しました。前回と同様にボウリング会場は、スポーツ熊本(大劇)を利用しました。

5班(4人)に分かれてボウリングを行いました。前回と比べると慣れた様子でスムーズに実施ができました。今回は、最初から各々の班で盛り上がりを見せて、スピアやストライクをとると更に大変な盛り上がりで満面の笑みやポーズを決めたり、ハイタッチをしたりと各々が楽しんでいました。今回も真っ直ぐ投球をするのが難しい方、なかなかピンが倒せない方もいましたので、みんなが楽しめるように班分けやガター無しの配慮をしました。やはり、体を動かすのが好きな方もたくさんいましたので、好評のうちに2ゲームはあっという間に終わりました。また、事故や怪我も無く最後までみんなが楽しめた事は大変良かったです。今年度のボウリング行事は今回を以て終了しましたが、好評でしたので次年度の実施も検討したいと思います。

次回の行事(11月)も期待して頂けたらと思います。

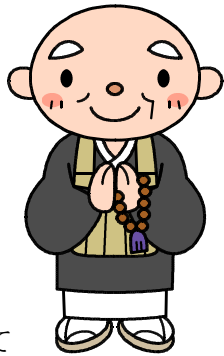


松原さんが主張する…

般若心経ロック

最近、自律神経が乱れやすいお年頃になりまして、自律神経を整えるのに効果がある事を色々調べていましたら、なぜか般若心経にたどり着きました。私は特に熱心に信仰している宗教はないのですが、般若心経の、別に仏門に入らなくても真理を理解すれば楽になれるんだよみたいな説明(?)を見て、これはいいなと思い、さらに般若心経について調べている途中、「般若心経ロック」なるものを発見。般若心経をロックな言葉で現代語訳したものです。ロックなので言葉は上品ではないのですが…。長いので全ては紹介できませんがほんの一部抜粋すると『苦しみとか病とか、そんなものにこだわるなよ。見えてるものにこだわるな。聞こえるものにしがみつくな。味や香りなんて人それぞれだろ？何のアテにもなりやしない。』『正しく生きるのは確かに難しいかも。でも明るく生きるのは誰にだってできるんだよ。』『生き方は何も変わらない。ただ受け止め方が変わるのさ。』真理さえ知れば誰でも何処でも、悟り・安らぎの境地、つまり涅槃にたどり着ける、という教えが簡単になったものです。

人間は、悩み苦しみながら生きて



生活介護活動記

パート 1

梅干しを漬けてみた



梅雨の終わり、理事長より梅を頂きました。職員で分ける方法もあったのですが、ここはアイデアを出し生活介護でチャレンジすることに。写真は、梅を干しているところと、しその準備です。出来映えは次回で！

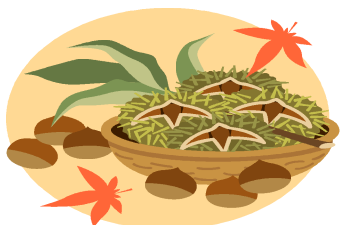
いくもの…ではないんだな、と感じました。すべてのものは変化していきます。人生は変化している過程。常に動いている。起こる事を受け止め、流す。

人間は何百年もは生きないんですから、どうせなら気楽に笑って、いらないものは流して、抱え込まないで、精いっぱい人生を楽しめたらいいなと思います。

職員一行月記 「私事で恐縮です」



- ラジオ体操…なかなか効く！ 【レバー】
- 体調がいい。 【北】
- 早く涼しく、ならないかなー 【ランド】
- 運、縁、タイミング。 【にゃんこ】
- 食欲の秋、、、溺れないように!!! 【K】
- HANDCLAPで少しずつ。 【*】

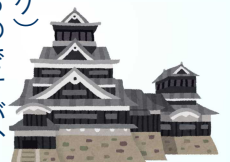


坂本がざれごとをつれづれと

「戯れ言徒然」

第一五六言

復興祈願



あぜ道を赤く染めて

元来、彼岸に咲くと伝えられる彼岸花(ヒガンバナ)ですが、なんか9月の終わりになつて咲き誇っています。人によっては、あまりいいイメージを持たれない彼岸花ですが、今回はそのお話を。

ヒガンバナは日本全国に分布している花だそうで、出身は大陸です。その持ち込まれ方ははっきりしないのですが、前に書いたソメイヨシノのように種ができないため、種子によって増えることはできません。球根の周りに球根ができていく方法で増えます。私が聞いたのはモグラやネズミなどの小動物が田んぼのあぜに穴を空けないよう、球根に毒のある彼岸花を人が植えたという話なので、田んぼや畑の周りにあるのも領けます。昔は土葬だったことを考えれば、お墓に生えているのも納得していきます。このヒガンバナ、曼珠

沙華(マンジュシャゲ)と呼ばれることもあるのですが、これが少々複雑です。漢字のとおりにどう見ても仏教用語で「天界に咲く花」という意味があるそうですが、マンジュシャゲ自体は赤とも白とも言われており、「ヒガンバナ」マンジュシャゲは実際はつきりしないようです。また、ヒガンバナ科の花は、仏教発祥のインドではほとんど自生していないそうで、それを考えると多少無理があるかなと。皆さんヒガンバナに思い入れがある方は、そういらつしやらないと思いますが、私はヒガンバナがもとで、人生でただ1度とつくみあいの兄弟げんかを、公共の場でやり合ったことがありまふ。そのせいで、私は思い入れがあるのかもしれない。兄弟げんかの話は、また今度。追伸…母の買い物難民は、近くにスーパーの分店ができて若干解消されました。